

文政十年の八月書

板元 和泉屋久多清



四條北側
大里之橋
歌舞妓
和泉屋

代名
早雲長次

前巻
復讐の巻

第壹 沖や妻のあつらひに 賊路のあひ合

第貳 隠れ家のあつらひに 暗味乃松林

第参 忠義の奴のあつらひに 女房のあつらひ

第肆 烏路の沖のあつらひに 鬼のあつらひ

第伍 九十九のあつらひに 聲のあつらひ

第陸 江戸のあつらひに 橋のあつらひ

第柒 阿弥のあつらひに 舟のあつらひ

第八 権現のあつらひに 舟のあつらひ

切
かみ
け
阿弥舟
上
中

舟
橋
竹平倉

味
味
味

竹平倉
竹平倉
竹平倉

他者

宗河
建
津
宗河
宗河

後者

別